

# 帰宅困難者避難所運営マニュアル

2023年8月3日制定

はじめに

開設の基本

開設・運営のフロー

I 事前の備え

- 1 資機材等の備え
- 2 避難所レイアウト

II 避難所の開設・運営

- 1 組織と構成員
- 2 担当と役割
- 3 避難所の設営
- 4 事前受付
- 5 専用避難所

III 避難所の衛生・消毒

- 1 避難所の衛生
- 2 避難所の消毒

IV 避難所の閉鎖

様式

避難所における感染対策のポスター

- ① 「感染症対策に ご協力を」
- ② 「次の症状がある場合は すぐにスタッフにお知らせください」
- ③ 「手洗い, マスクの着用を含む咳エチケット」

学校法人 宮城学院

## はじめに

### 帰宅困難者について

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、鉄道や地下鉄など公共交通機関が運行を停止し、地震発生が平日の午後であったことから、JR仙台駅や地下鉄ターミナル駅周辺は、一時1万1千人もの帰宅困難者で混雑しました。一部は近くの被災者のための指定避難所に殺到するなど、大都市が抱える新たな防災上の課題が明らかになりました。

本学においても、大学生246名、中高生134名のほか支援にあたる教職員を合わせて約400名が体育館やランディス館に避難宿泊しました。

### 自然災害の激甚化

大規模地震の発生にとどまらず、2019年には、過去最強クラスの台風19号が上陸し、東北地方ではこれまでに経験したことがない記録的な大雨が降り、大規模な河川氾濫や土砂災害に見舞われました。このような台風に限らず、近年、時間雨量が50mmを上回る豪雨が全国的に増加するなど、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、私たちは、いつでも帰宅困難の状況に遭遇しうることを念頭に置いて、災害に備える必要があります。

### 新型コロナウイルスなど感染症への対応

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日に感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行しましたが、いまだ感染者の発生は継続しています。また、多くの帰宅困難者が一時滞在する避難所では、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染が懸念され、これからの災害対応は、被害拡大防止を図りながら感染対策も併せて行っていくことが求められています。

### 本学の帰宅困難者対策

このような背景のもと、本学においては、「一斉帰宅の抑制」を基本方針に、「危機管理マニュアル（地震災害編）」（2012年4月）、「危機管理マニュアル（風水害等対策編）」（2019年7月）及び「学生・生徒・園児および家族のための危機対応ガイド」（2014年8月）に基づき、帰宅困難に係る対応を図ることとしています。

また、2014年度からは、全学院総合防災訓練の中で、学生・生徒の帰宅困難者を対象とした避難所運営訓練を実施しており、開設から解散までの避難所対応班をはじめとする対応班の役割と行動を確認、検証しています。

### 帰宅困難者避難所対応マニュアル

これらマニュアル等における帰宅困難者対策に関する記載事項や訓練で得た課題等を整理し、かつ、避難所での衛生管理や感染対策を盛り込んだ施設運営の方針、行動手順等を以下「帰宅困難者避難所運営マニュアル」としてまとめることとしました。

また、本マニュアル中、感染対策として実施すべき事項は、**太字**で表しています。

## 開設の基本

### (1) 設置時期

大規模災害発生後，全学院緊急対策本部が設置され，その指示のもとに資源管理班が施設の安全確認を行い，開設可能と判断したとき

### (2) 開設期間

原則として最大で3日間

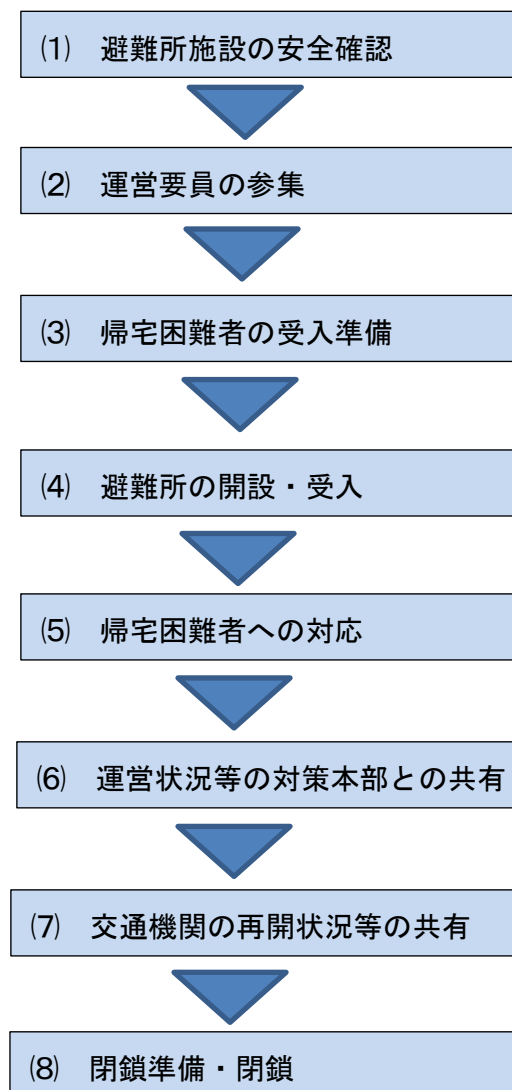
### (3) 目的

「一斉帰宅の抑制」を基本に，学生・生徒等のうち帰宅困難者の受入れ

### (4) 支援事項

食料，水，毛布，休憩・滞在場所，情報等の提供

## 開設・運営のフロー



# I 事前の備え

## 1 資機材等の備え

### (1) 備蓄品等

品目	品名
食料品	アルファ米, 乾パン, レトルト, 白米 (学生生協との消費備蓄協定分)
飲料水	ペットボトル, 折りたたみポリタンク
備品類	発電機, 携帯用ラジオ, 懐中電灯, 充電式テレビ, ランタン, 懐中電灯用電池, ラジオ用電池, 携帯用充電器, カセットコンロ, カセットボンベ, 移動かまど
衛生・薬品類	マスク, ウェットティッシュ, ポケットティッシュ, カイロ, タオル, 手袋, 包帯, 三角巾, サージカルテープ, 滅菌ガーゼ, カットバン, 抗菌・防臭・防塵マスク, 冷却剤, ソフト副木, 湿布薬, 生理用ナプキン
居住用品	アルミブランケット, ブルーシート
燃料	重油, 灯油, 軽油, ガソリン
活動用資機材	簡易無線機, ビブス, ヘルメット, 手袋, 携帯用拡声器, 担架, 自動体外式除細動器 (AED)
運用品	ホワイトボード・ペン, 筆記用具, マーカー, 模造紙, セロハンテープ, クリップ, バインダー, クリアファイル, 布テープ, メジャー

### (2) 感染症対策物資

#### ア 備品類

品目	数量	単位	備考 (使用例等)
プラダンパーティション※ <sup>1</sup> (縦 2.4×横 2.4×高さ 1.45m)	2	組	居住空間の確保や区画の整理 (体調不良者用)
段ボールベッド※ <sup>2</sup>	2	台	体調不良者用
ブルーシート (縦 1.8×横 1.8m)	400	枚	避難者が滞在する区画の設定用

## イ 衛生等用品類

品目	数量	単位	備考（使用例等）
アイソレーションガウン※ <sup>3</sup>	20	着	フェイスシールドとともに体調不良者のケアや避難所のトイレ掃除等で使用
フェイスシールド※ <sup>4</sup>	20	枚	使い切りの眼鏡一体型タイプ，体調不良者のケアや避難所のトイレ掃除等で使用
電子体温計（消毒可能な防水型）	6	本	体調不良者，体調不良を申し出た者の検温
クリップペンシル	200	本	健康状態調査カード等の記入用，使い捨て
アルコール手指消毒剤 1,000 ml	10	本	避難所用に循環備蓄
ハンドソープ 500 ml	4	本	手指の消毒・殺菌用に循環備蓄
作業用手袋	20	双	滑り止めゴム加工が施されたもので，パーティションの組み立て等作業時に使用
養生テープ	10	巻	区画や動線のライン標示用
塩素系漂白剤 600 ml	2	本	施設内の消毒用に循環備蓄
使い捨て手袋（ポリエチレン） 100 枚入	2	包	受付，体調不良者のケア，施設内の消毒用等に循環備蓄
使い捨て手袋（ニトリルゴム製） 100 枚入	2	包	施設内の消毒用等に循環備蓄
ペーパータオル 200 枚入	3	包	施設内の消毒用等に循環備蓄
ゴミ袋（大）	100	枚	避難所内のゴミ入れ用に循環備蓄
ゴミ袋（小）	400	枚	避難者各人のゴミ入れ用に循環備蓄
除菌アルコールシート 20 枚入	20	個	施設内の消毒，手指の消毒用等に循環備蓄
雑巾 10 枚入	3	包	施設内の消毒用等に循環備蓄
ポータブルトイレ	2	個	体調不良者用
ペダル式蓋付きゴミ箱	2	個	体調不良者用



**※1 プラダンパーティション**

構成部品は、段ボールに比べ強度の高いプラスチックでできています。1セット（8枚）のL字型のパーツで任意の形状を作成でき、最大3.5畳分の広さになります。組み立てる際は、鋭利な部分があるので、作業用手袋を着用してください。樹脂製のため、アルコールで消毒、除菌をして、繰り返し使用でき、普段使用しない時は、コンパクトに折りたたんで保管できます。



**※2 段ボールベッド**

構成部品は、全て段ボール。工具なしで簡単に組み立てが可能。強度は体重150kgまで耐えることができ、保管収納時も場所をとりません。利用者側としては、床にあるゴミやほこりなどから距離を保つことができ、椅子の代用にもなり、ベッドの下に物を収容できるメリットがあります。



**※3 アイソレーションガウン（左）**

**※4 フェイスシールド（右）**

避難所で発生したゴミ収集、トイレ掃除等、感染の危険が高い場面で着用します。感染防止効果を高めるため、マスクを着用した上でフェイスシールドを装着することを推奨します。また、基本的に、感染防止のため、一度使用したものは廃棄してください。

**(3) 様式類**

種類	様式等	感染対策用の様式等
受付	様式2「帰宅困難者受付カード （学生用）」 様式2-2「帰宅困難者受付カード （中高校生用）」	様式1「健康調査カード（学生用）」 様式1-2「健康調査カード （中高校生用）」 様式3「体調チェック票」
名簿	様式4「帰宅困難者受入名簿」	
届	様式5「(中途)退所届」	

## 2 避難所レイアウト

### (1) 避難所レイアウトの考え方

- ・ 避難所を設営する際は、「感染拡大の防止」に留意します。
- ・ 受付の段階で、様式1「健康調査カード」を参考に、居住スペースを「一般用」と「体調不良者用」に区分（ゾーニング）します。
- ・ 感染防止と通路確保のため、占有場所(1.8m×1.8m)の上下左右 0.5m間隔を確保するレイアウトとします(図1)。この場合、中高体育館は230人、大学体育館は180人の収容人数となります。
- ・ 避難所対応班等の動線を最短化するため、一般の帰宅困難者の居住スペースは中高体育館に一元化し、その中で学生と中高生をゾーニングします。
- ・ 大学体育館は、様式1「健康調査カード」の記入場所及び事前受付(体調確認)に使用し、中高体育館の収容人数が超過する場合は大学体育館も避難所として使用します。
- ・ 帰宅困難者のうち体調不良者は、大学体育館2階のサブフロアを居住スペースとし(図2)、医療救護班等が常駐してケアするなど対応に配慮します。また、状況に応じて、保健センターや保健室の使用を考慮します。

図1 一般の占有場所レイアウト

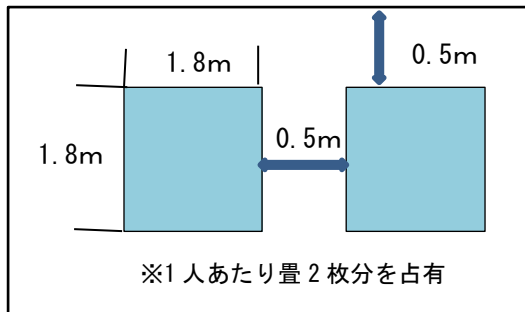
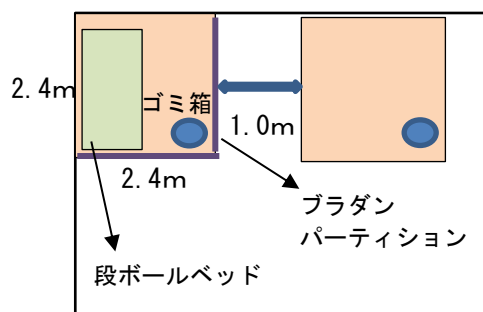


図2 体調不良者の占有場所レイアウト



## (2) 体育館レイアウト

図3 中高体育館（一般避難所）

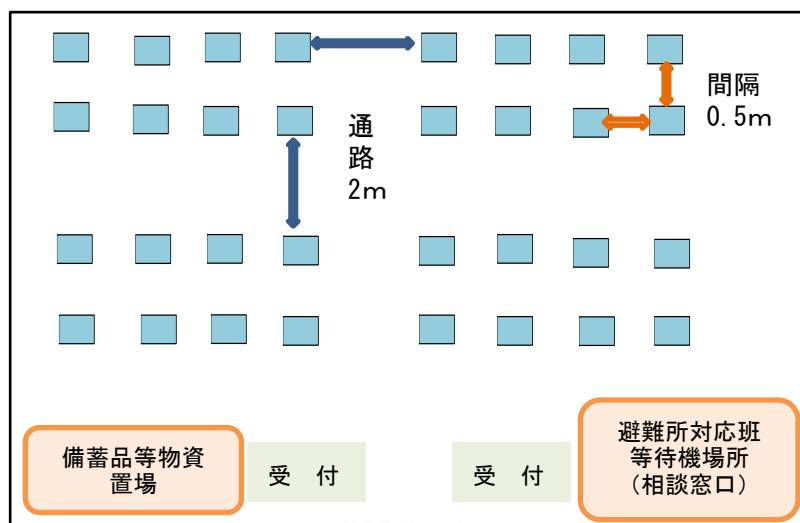
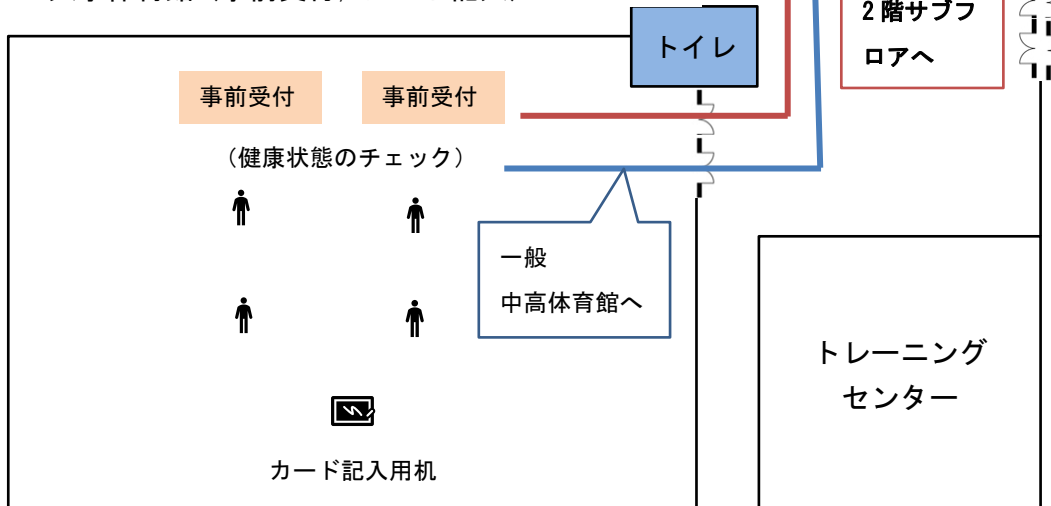


図4 大学体育館（事前受付，カード記入）

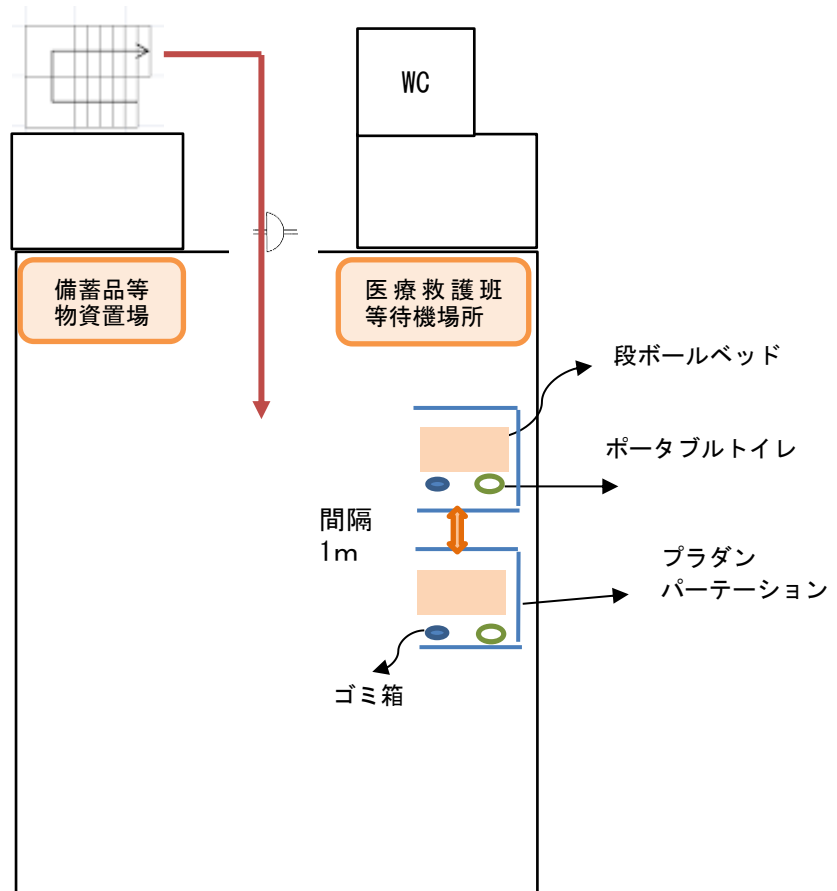


- 一般避難所の設営を迅速に行うため、1人用ブルーシート（1.8m×1.8m）を準備、保管しておきます。
- まず、体育館の床面に、1人用ブルーシートを滞在人数に応じて敷き詰めます。
- 敷き詰め方は、占有場所どうしの間隔を概ね0.5m以上離し、ブルーシートをガムテープで止めるとともに、トイレや物資等の受取りのために、縦横の中央にそれぞれ幅2m以上の通路を確保し、カラーテープで表示します。
- 「一般避難所」、「受付」、「事前受付」、「物資置場」、「相談窓口」、「トイレ」、「ゴミ捨て場」等を表示して導線を確保します。
- 出入口は開放し、窓等は気象状況に応じて適宜開放し、換気に留意します。



### (3) 2階サブフロアレイアウト

図5 専用避難所（発熱・体調不良者用）



- 占有場所の床に2.4×2.4×高さ1.45mのプラダンパーティションを組み立てます。
- プラダンパーティションの間隔を1m離します。
- それぞれの区画に段ボールベッド、ペダル式蓋付きゴミ箱を設置します。
- 受付は医療救護班等がベッドに向向いて、聞き取りで行います。
- 体調不良の程度が重い人の順に出入口側から休ませます。
- トイレまで自力で歩くのが困難な場合は、ポータブルトイレを設置します。
- 出入口は開放し、窓等は気象状況に応じて適宜開放し、換気に留意します。

## Ⅱ 避難所の開設・運営

### 1 組織と構成員

- ・ 避難所は、大学と中高の避難所対応班等が合同であたり、運営の円滑化、効率化を図ります。
- ・ 大学と中高合同の避難所運営は、大学の避難所対応班長が全体の指揮を執ります（以下「指揮者」）。
- ・ 避難所の運営は避難所対応班を中心に行いますが、帰宅困難者が多数に上った場合は、設置学校の①避難誘導班、②安否確認班の順に避難所運営の応援に入ります。
- ・ **感染拡大の防止対策は、設置学校の医療救護班を中心に行います。**
- ・ 備蓄物資等の供給は、法人の資源管理班を中心に行います。

#### (1) 大学

組織・構成員			
班名	班長	副班長	班員
避難所対応班	入試部長 (指揮者)	入試課長	入試センター部員，入試課職員，※学生による運営支援
①避難誘導班	教務部長	教務課長	教務センター部員，教務課職員
②安否確認班	学生部長	キャリア支援部長 学生課長 キャリア支援課長	宗教センター長・一般教育部長・学科長・専攻主任・音楽リエゾンセンター長 学生生活センター部員，キャリア支援センター部員，特任教員等 学生課職員，キャリア支援課職員

#### (2) 中高

班名	班長	班員
避難所対応班	生活指導部長	中高事務室，実習助手
①避難誘導班	教務部長	学年主任，クラス担任
②安否確認班	生活指導部長	学年主任，クラス担任

#### (3) 医療救護班

班名	班長	班員
医療救護班	保健センター長	保健センター職員，中高保健室教員，教職センター

#### (4) 法人

班名	班長	副班長	班員
資源管理班	財務施設部長	施設課長	施設課

## 2 担当と役割

担当	学校	担当者	役割
事前受付	大学		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生（生徒）に様式1「健康調査カード」を配布し、「記入所」で記入してもらい、受付で回収。</li> <li>・回収の際、体調不良者には自己申告してもらい調査カードの記載も確認し、検温。</li> <li>・体調不良以外の一般は、導線に従い中高体育館へ移動指示、体調不良者は2階サブフロアへ案内。</li> </ul>
	中高		
一般受付 入退管理	大学		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生（生徒）をそれぞれのゾーンの占有場所に誘導、様式2「帰宅困難者受付カード」を記入してもらい、受付で内容を確認しながら回収。</li> <li>・受付終了後、様式4「帰宅困難者受入名簿」に転記、管理。</li> <li>・様式4「帰宅困難者受入名簿」を基に途中退所を含む滞在者の入退管理。</li> </ul>
	中高		
救護			<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階サブフロアの専用避難所へ常駐し、体調不良者の受付とケア。</li> </ul>
無線 情報収集	大学		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置学校本部との無線交信。</li> <li>・交通機関の再開状況等必要事項の情報収集</li> </ul>
	中高		
記録 情報提供	大学		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の運営経過や交通機関の再開状況等必要事項を記録し、ホワイトボードへの記入やアナウンスなどにより滞在者へ情報提供。</li> </ul>
	中高		
物資	大学		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理班が搬入した備蓄物資を帰宅困難者に供給。</li> <li>・必要物資等の供給に関する資源管理班との調整。</li> </ul>
	中高		
給食			<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄食料をベースに滞在者への給食。</li> </ul>
衛生			<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒、換気、掃除、ごみ処理等。</li> </ul>

※担当の重複は可

### 3 避難所の設営（一部再掲）

避難所の設営は、指揮者の指示により、全員が協力して行います。

#### (1) 中高体育館（一般避難所）の設営

- ① 必要な備蓄品、資機材等を資源管理班の指示で体育館に運び込みます。
- ② 体育館の床面に、滞在人数に応じて1人用ブルーシートを敷き詰めます。
- ③ 占有場所に毛布を必要数置いていきます。
- ④ 出入口外側に「一般避難所」を掲示します。
- ⑤ 出入口の左右に「学生受付」と「生徒受付」をセットし、様式類、文房具を準備し、標示を貼付します。
- ⑥ 受付脇に、避難所対応班待機場所をセットし、「相談窓口」の標示を貼付します。
- ⑦ 反対側の受付脇に「物資置場」の標示を貼付し、必要な食糧、飲料水等を準備します。
- ⑧ ゴミ箱をトイレ付近など室外に集中し、位置を掲示します。
- ⑨ トイレの位置を掲示します。

#### (2) 大学体育館（事前受付・カード記入）の設営

- ① 出入口外側に「事前受付（体調確認）」を掲示します。
- ② 出入口内側に机をセットし、様式1「健康調査カード」、アルコール消毒薬、配布用マスクを準備します。
- ③ 体育館内に「事前受付（学生）」、「事前受付（生徒）」をセットし、体温計、アルコール消毒薬、文房具を準備し、標示を貼付します。
- ④ 様式1「健康調査カード」に記入するための机と筆記用具をセットし、「記入所」を標示します。
- ⑤ 体調不良者は2階サブフロアへ、一般は中高体育館へ、導線を表示しアナウンスします。

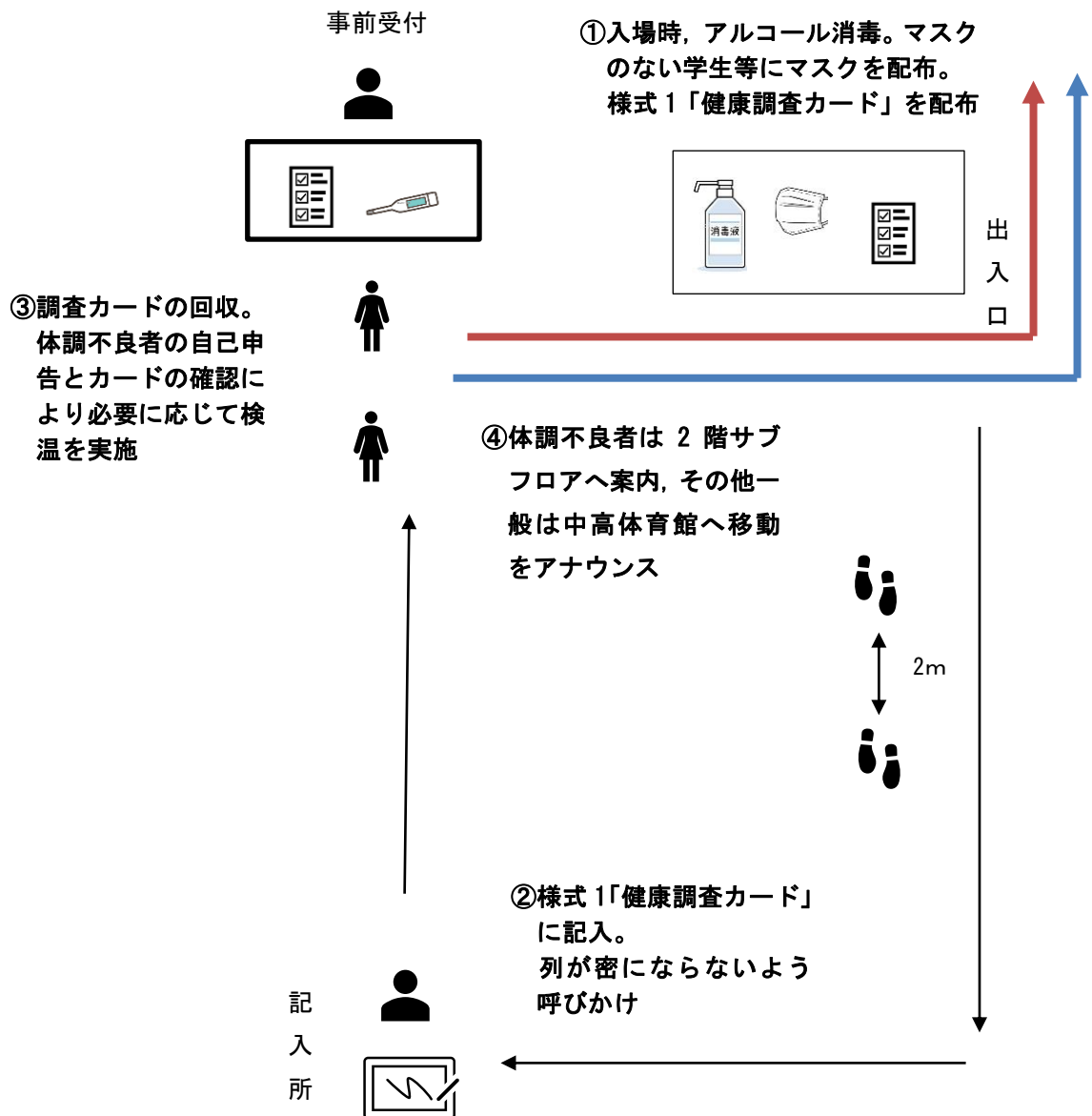
#### (3) 2階サブフロア（専用避難所）の設営

- ① 必要な備蓄品、資機材等を資源管理班の指示でサブフロアに運び込みます。
- ② 占有場所にプラダンパーティションを組み立てます。
- ③ プラダンパーティションの間隔を1m離します。
- ④ それぞれの区画に段ボールベッドを設置し、毛布を必要数置いていきます。ペダル式蓋付きゴミ箱を設置し、必要に応じてポータブルトイレを準備します。
- ⑤ 出入口外側に「専用避難所」を掲示します。
- ⑥ 出入口内側脇に医療救護班待機場所をセット、「医療救護班」の標示を貼付するとともに、医療救護用品、様式類、文房具を準備します。
- ⑦ 反対側に「物資置場」の標示を貼付し、必要な食糧、飲料水等を準備します。

#### 4 事前受付

避難所で感染拡大が起きないように、大学体育館に事前受付を設置し、健康状態調査を行います。調査結果に基づき、居住スペースの「中高体育館（一般避難所）」と「2階サブフロア（専用避難所）」に帰宅困難者を誘導します。

##### (1) 事前受付のレイアウト



## (2) 事前受付時のポイント

- ・ 運営者、帰宅困難者はマスクを着用し、2mの間隔を空けて帰宅困難者の列が密にならないようにします。
- ・ 健康状態調査で問題がなかったとしても、3密の回避、手洗いやアルコール消毒、マスクの着用を喚起します。
- ・ 事前受付では、受付担当はマスク着用のほかに使い捨て手袋を着用します。

## 5 専用避難所

事前受付の健康状態調査において、発熱や咳等の体調不良を訴えた帰宅困難者は、一般避難所とは別に専用避難所に案内し滞在してもらうこととなりますが、人権には十分配慮して、あくまでも感染対策上の必要な対応であることを説明します。

### ○ 運営のポイント

- ・ 専用避難所の運営は、医療救護班を中心に行い、体調不良者のケアにあたります。
- ・ 体調不良者の受付は、医療救護班が体調不良者から聞き取りを行い、様式2「帰宅困難者受付カード」に記入後、様式4「帰宅困難者受入名簿」に転記します。この情報は一般受付担当と共有します。
- ・ 他の運営に従事する人は、必要がない限り、専用避難所に立ち入らないようにします。
- ・ ケアにあたる場合は、フェイスシールド、マスク、使い捨てビニール手袋、感染症予防着を着用します。
- ・ 定期的に検温して体温を記録するほか、体調など問診の結果を様式3「体調チェック票」に記録しておきます。
- ・ 体調不良者の中に感染症の感染が疑われる場合は、医療機関に連絡します。
- ・ 症状が重い場合は救急車を要請（119番）します。
- ・ 窓を定期的に開放し、扇風機やサーキュレーターを窓方向に向け換気します。

## Ⅲ 避難所の衛生・消毒

### 1 避難所の衛生

避難所の衛生を維持管理するためには、教職員による運営スタッフだけでは手が足りません。帰宅困難者の中で健康で動ける学生等には、基本的な感染対策を行った上で、避難所運営に協力してもらいます。

#### (1) 共通

行動・作業の前後や共有のものに触れる前後には、必ず手洗い・アルコール消毒をしましょう。また、作業時には、マスクと使い捨てビニール手袋の着用は必須です。

##### ① アルコール消毒液の置き場所

- ・ 施設の出入口
- ・ 部屋の出入口
- ・ 受付
- ・ トイレの出入口
- ・ ゴミ箱の周囲
- ・ 任意のブロック単位
- ・ 携帯用充電器等多くの人がものに触れるスペース など

##### ② 換気の日安

- ・ 1時間に2回程度、各10分程度
- ・ ドアや窓の位置から空気の流れを考慮、できるだけ対角線上又は2方向に換気
- ・ 扇風機やサーキュレーターを使用する場合、ドアや窓を開け、その方向に送風

#### (2) 掃除

掃除は、次亜塩素酸ナトリウム液を使用したペーパータオルによる拭き掃除が基本です。

##### ① 生活スペース

- ・ 滞在者がよく手を触れる場所（ドアノブ、手すり、机、椅子の背もたれ、テーブル、電気のスイッチ、蛇口など）を中心に、定期的に拭き掃除をします。
- ・ 自分の占有場所は、自分で定期的に拭き掃除をしましょう。

##### ② トイレ

- ・ トイレ掃除を行う際には、マスク・手袋に加え、フェイスシールドと感染予防着を着用します。
- ・ 便器をはじめ洗浄レバー等使用者が触れる場所をできるだけ頻繁に掃除します。
- ・ 便器に吐物や下痢の跡があった場合、運営スタッフに速やかに報告します。

### (3) ゴミの扱い

使用後のマスクやペーパータオルなどは、ウイルスの付着の可能性があることから、小さいビニール袋に入れ密封して排出しましょう。

- ・ 滞在者各人に小さいごみ袋を配布し、必ず口を縛った上で、室外の指定ゴミ箱に捨てるよう周知します。
- ・ 専用避難所においては、占有スペースごとに足踏み式蓋付きゴミ箱を配置し、運営スタッフが回収します。
- ・ ゴミ箱には必ず袋をかぶせて使用し、ゴミが袋から溢れないよう気を付けます。
- ・ ゴミ箱にたまったゴミは、最終的にゴミ集積所に回収します。

### (4) 食事の注意点

食事中はマスクを外すことから、会話は控え、向かい合って食べないように周知するとともに、換気を徹底します。

- ・ 個食・個包装を原則とします。
- ・ 食器は使い捨てを原則とします。
- ・ 滞在者各人が配布場所に順番に取りに行き、配布場所が密にならないよう注意します。
- ・ 食べ終わった残飯や容器等は、滞在者が自分で分別してゴミ袋に入れ、室外の指定ゴミ箱に捨てるよう周知します。
- ・ 専用避難所においては、占有スペースごとに運営スタッフが食事の配布や後片付けを行います。

## 2 避難所の消毒

### ○ 消毒液の作り方

- ・ 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を濃度 0.05%に薄め消毒液を作ります。
- ・ 容器には「消毒液」と標示し、効果が弱まらないよう、消毒作業を行う都度、消毒液を作ります。
- ・ 取り扱うときは手袋を着用し、消毒を行うときは、十分に換気を行うなど、使用する漂白剤の注意事項をよく読んで行います。

#### 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

メーカー	商品名	作り方の例
花王	ハイター, キッチンハイター	水 1L に本商品 25mL (商品付属のキャップ 1 杯) ※購入から 3 か月以内の場合, 水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ, カネヨキッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ミツエイ	ブリーチ, キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)



## IV 避難所の閉鎖

### 1 避難所の閉鎖準備

#### (1) 帰宅支援情報の提供

- ・ 公共交通機関の運行再開情報等を滞在者に掲示・アナウンス等により提供します。
- ・ 代替交通手段, 道路状況, 安全な帰宅経路等滞在者の帰宅支援情報を提供します。
- ・ これら情報を提供することにより, 滞在者が帰宅する時期を判断できるよう支援します。

#### (2) 帰宅支援の留意事項

- ・ 中高生の帰宅は, 保護者又は保護者から委任を受けた者への引渡しが原則です。
- ・ 学生の帰宅については, 滞在者自らの判断で行うものですが, 自治体など公的機関の安心情報が発表されるまでは, 学生に帰宅を促すことはありません。

#### (3) 帰宅時期

- ・ 避難所の開設期間は, 原則として最大で3日間ですが, 道路の安全などが確保され, 二次災害のおそれがないなど公的機関の安心情報が発表された場合には, 3日を待たず帰宅時期を早めることは可能です。
- ・ 逆に道路の安全などが確保されず, 二次災害のおそれが高い場合には, 避難所の開設期間を延長することもあり得ます。

#### (4) 中途退所

- ・ 最新の安心情報や運行情報等を理解した上で, 滞在者が中途退所を希望する場合は, 様式5「(中途)退所届」に必要事項を記載の上, 様式4「帰宅困難者受入名簿」に記録しておきます。

### 2 避難所の閉鎖

#### (1) 閉鎖の判断

- ・ 避難所の指揮者は, 滞在者が10名程度となった段階で閉鎖の検討を開始します。
- ・ 残った滞在者の状況や意向を確認し, 公的機関の安心情報等を基に対策本部と閉鎖に伴う対応について協議します。
- ・ 滞在者へ概ねの閉鎖日時を通知します。

#### (2) 閉鎖

# 様式

## 様式 1

### 健康調査カード（学生用）

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

氏名（フリガナ） \_\_\_\_\_ （ \_\_\_\_\_ 歳）

\_\_\_\_\_ 学部

\_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 学籍番号

※ 現在の体調について、「はい」または「いいえ」のどちらかに○を付けてください。

1	熱はありますか	はい ・ いいえ
2	咳やたん、のどの痛みはありますか	はい ・ いいえ
3	息苦しさはありますか	はい ・ いいえ
4	味やにおいを感じにくいですか	はい ・ いいえ
5	強いだるさがありますか	はい ・ いいえ
6	嘔吐や吐き気がありますか	はい ・ いいえ
7	下痢が続いていますか	はい ・ いいえ

8 介助が必要な病気やケガがあれば下欄に記入してください。

※ 記入後、事前受付の担当者に渡してください。

検温が必要な人の	_____ °C	担当者サイン
検温結果	( _____ 時 _____ 分時点)	

様式 1-2

健康調査カード（中高校生用）

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

氏名（フリガナ） \_\_\_\_\_

中学・高校 第 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_

※ 現在の体調について、「はい」または「いいえ」のどちらかに○を付けてください。

1	熱はありますか	はい ・ いいえ
2	咳やたん、のどの痛みはありますか	はい ・ いいえ
3	息苦しさはありますか	はい ・ いいえ
4	味やにおいを感じにくいですか	はい ・ いいえ
5	強いだるさがありますか	はい ・ いいえ
6	嘔吐や吐き気がありますか	はい ・ いいえ
7	下痢が続いていますか	はい ・ いいえ

8 介助が必要な病気やケガがあれば下欄に記入してください。

--

※ 記入後、事前受付の担当者に渡してください。

検温が必要な人の	℃	担当者サイン
検温結果	( 時 分時点)	

様式 2

受入番号

帰宅困難者受付カード (学生用)

※以下の欄に記入し提出してください。このカードは  
安否確認や帰宅困難者対策にも使用します。

氏名 (フリガナ) \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 歳)

\_\_\_\_\_ 学部

\_\_\_\_\_ 科 年 組 学籍番号

\_\_\_\_\_ 現住所

\_\_\_\_\_ 携帯番号

\_\_\_\_\_ 帰省先 住所

\_\_\_\_\_ 保護者名 \_\_\_\_\_ 連絡電話

安否確認があった場合、この情報を使用  
することに

同意する ・ 同意しない  
(いずれかに○をつけてください)

帰宅が困難なので、

一時滞在したい ・ 宿泊したい

(いずれかに○をつけてください)

様式 2-2

受入番号

帰宅困難者受付カード (中高生用)

※以下の欄に記入し受付に提出してください。このカード  
は安否確認や帰宅困難者対策に使用します。

氏名 (フリガナ) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 中学・高校 第 学年 組 番

\_\_\_\_\_ 現住所

\_\_\_\_\_ 携帯番号

\_\_\_\_\_ 帰省先 住所

\_\_\_\_\_ 保護者名 \_\_\_\_\_ 連絡電話

安否確認があった場合、この情報を使用  
することに

同意する ・ 同意しない  
(いずれかに○をつけてください)

帰宅が困難なので、

一時滞在したい ・ 宿泊したい

(いずれかに○をつけてください)

様式 3

体調チェック票（一般）

氏名（フリガナ）\_\_\_\_\_

中学・高校・大学・教職員

区 分	/ ( )	/ ( )	/ ( )
熱がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
熱がある人の検温結果	℃ ( 時 分時点)		担当者サイン
咳やたん、のどの痛みがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
息苦しさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
味やにおいを感じにくい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
強いだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
嘔吐や吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他の症状			

様式 3 - 2

体調チェック票（体調不良者）

氏名（フリガナ）\_\_\_\_\_

中学・高校・大学・教職員

区 分	/ ( )	/ ( )	/ ( )
検 温	朝           ℃	朝           ℃	朝           ℃
	昼           ℃	昼           ℃	昼           ℃
	夕           ℃	夕           ℃	夕           ℃
咳やたん、のどの痛みがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
息苦しさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
味やにおいを感じにくい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
強いだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
嘔吐や吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他の症状			



様式5

受入番号

(中途)退所届

※避難所から退所する際は、以下の欄に記入し提出してください。

本書を提出することにより、退所が自らの意思によるものであることについて、同意したものとみなします。

(フリガナ)

氏 名： \_\_\_\_\_

退所日時： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

目的地： 自宅 (最寄駅： \_\_\_\_\_ )

\_\_\_\_\_ (最寄駅： \_\_\_\_\_ )

退所理由： \_\_\_\_\_



## 感染症対策にご協力を

### ほかの人につさない

- 常にマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう
- お互いの距離は、2メートル以上離しましょう
- こまめに手洗い・アルコール消毒を行いましょ
- 居住スペース以外で食事をとらないようにしましょう
- 定期的に体調をチェックしましょう
- 発熱や体調が良くないときは、避難所運営スタッフに申し出てください

### 避難所運営上のお願い

- 定期的に換気しましょう（1時間に2回程度10分間）
- 居住スペースは毎日清掃しましょう
- ドアノブ等の共有箇所の消毒、トイレの清掃はこまめに行いましょう
- 備蓄品や食事などの配布は、手渡しを避けましょう
- ゴミは小さな袋などにまとめ、口を結んでゴミ箱へ捨てましょう

**次の症状がある場合は  
すぐにスタッフにお知らせください**

- 熱（37.5度以上）がある，または熱っぽい
- 咽頭痛，咳，痰など呼吸器症状がある
- 全身がだるい，寒気，頭痛，関節痛・筋肉痛などインフルエンザ様症状がある
- 嘔吐，下痢など消化器症状がある
- からだに発疹があり，かゆみや痛みがある

# ！ 感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

### ① 手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪を外しておきましょう



- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

### ② 咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるう



何もしずに咳やくしゃみをする × 咳やくしゃみを手でおさえる ×

マスクを着用する(口・鼻を覆う) ○ マスクがない時 ○ とっさの時 ○

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

### 正しいマスクの着用



- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索



出典：「感染症対策へのご協力をお願いします」（首相官邸・厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>